様式２

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1学年 第2・3学年 第2・3学年	美術・728 美術・828 美術・829	美術1　出会いと広がり 美術2・3上　学びの深まり 美術2・3下　美の探求
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　絵や彫刻など 第1学年では、身近なものの特徴や美しさを感じてスケッチしたり、身近な材料を組み合わせて発想を広げ、動物などの立体に表したりする活動、第2・3学年では、自然の光による瞬間の風景の美しさを絵に表したり、人の躍動感や緊張感が伝わるように立体に表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　デザインや工芸など 第1学年では、言葉のイメージを考えて文字のデザインを考えたり、木肌や木目の美しさを生かして生活に役立つものをつくったりする活動、第2・3学年では、情報を分かりやすく伝えるピクトグラムを考えたり、使う人や場所の雰囲気を考えてインテリアや小物をつくったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　鑑賞 第1学年では、観察をもとにした作品のよさや美しさについて話し合う活動、第2・3学年では、動きや時間など漫画表現の造形的なよさについて話し合う活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　〔共通事項〕 第1学年では、身近なものの形や色を見つめ、美しさの特徴をとらえ、構成を考えてデザインする活動、第2・3学年では、気持ちや季節感などの心でとらえたイメージを形や色で表現する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 第1学年では、巻末のページにおいて、思い描いたイメージに合わせて表現を工夫するための多様な表現技法を示したり、鉛筆や水彩絵の具の使い方を説明したりする活動、第2・3学年では、生活を彩る染め物を制作する題材において、草木染めの制作の流れや技法などを示したり、布地用絵の具による染色の技法や用具の使い方を説明したりする活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第１学年では、思い出の景色や場面を表す題材において、表現の意図に応じて、絵や立体を選択すること、第２・３学年では、生活を彩る染め物をつくる題材において、用途や機能に応じて染料を選択することなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習することができるような工夫がされている。 ○　内容の分量 第１学年～「絵や彫刻など」は 14 ページ、「デザインや工芸など」は 14 ページ、「鑑賞」は 12 ページ、資料が 20 ページであり、総ページ数は 60 ページで、前回より 25%増となっている。 第２・３学年～「絵や彫刻など」は 26 ページ、「デザインや工芸など」は 24 ページ、「鑑賞」は 30 ページ、資料が 36 ページであり、総ページ数は 116 ページで、前回より約 21%増となっている。			
使用上の配慮等	○　第1学年ではデザインの意味を考える題材で発想や手法の参考として、社会で活躍しているデザイナーのインタビューを紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　題材の冒頭で生徒に身に付けさせたい力について、「学びのねらい」として観点ごとのマークや囲みで示すなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「資料」ごとに色で示したり、用具の取扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示したりするなど使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある題材は、第2・3学年で材料の特性を生かした工芸品をつくる題材でアイヌ民族のアットゥシ織りを示すなど、北海道に関する作品等を紹介している。 ○　表現活動における発想や構想の能力、創造的な技能の発揮をサポートし、その豊かな育成を目的として、材料や用具の扱い方や色彩など学習に役立つ資料を巻末に特集している。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい文字の大きさやレイアウトにするなど工夫されている。			